

平成20年度 第63回国民体育大会 関東ブロック大会 バasketボール競技

平成 20 年 8 月 16 日 (土) 試合開始 13:00 試合終了 14:20

【少年男子】 1回戦 富士北麓公園 体育館 Aコート 第 3 試合

山	梨	67	$\left\{ \begin{array}{l} 13 - 28 \\ 22 - 22 \\ 16 - 27 \\ 16 - 23 \\ - \end{array} \right.$	100	埼	玉
---	---	----	--	-----	---	---

山 梨

番 号	氏 名	得 点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシスト パ ス	スティール	ブロック ショット	ターン オーバー
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		DF	OF	計				
4*	古屋 貴弘	5	1	2	1	5	0	0	2	1	1	2	2	0	0	1
5	一瀬 裕太	12	0	2	6	8	0	0	0	0	1	1	2	2	0	1
6	高橋 一将	4	0	1	1	1	2	2	2	0	2	2	1	1	0	1
7*	村上 洋平	9	1	4	3	6	0	0	1	0	1	1	3	3	0	4
8	松永 光貴	4	0	0	2	6	0	0	3	4	1	5	0	0	0	1
9*	清水 湧	0	0	1	0	2	0	0	4	1	1	2	3	1	0	0
10*	加々美 徹	9	0	0	4	8	1	2	0	1	1	2	2	2	0	3
11*	田 旭升	8	1	1	2	8	1	2	2	1	0	1	0	0	1	2
12	高橋 祐二	0														
13	渡邊 光朗	15	1	1	6	7	0	0	1	2	4	6	2	0	0	4
14	逆瀬川 浩志	3	0	1	1	3	1	1	2	1	0	1	0	0	0	2
15	小池 崇寛	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1
HC 古田 厚司 / チーム		0														
合 計		69	4	13	26	54	5	7	17	12	12	24	15	9	1	20

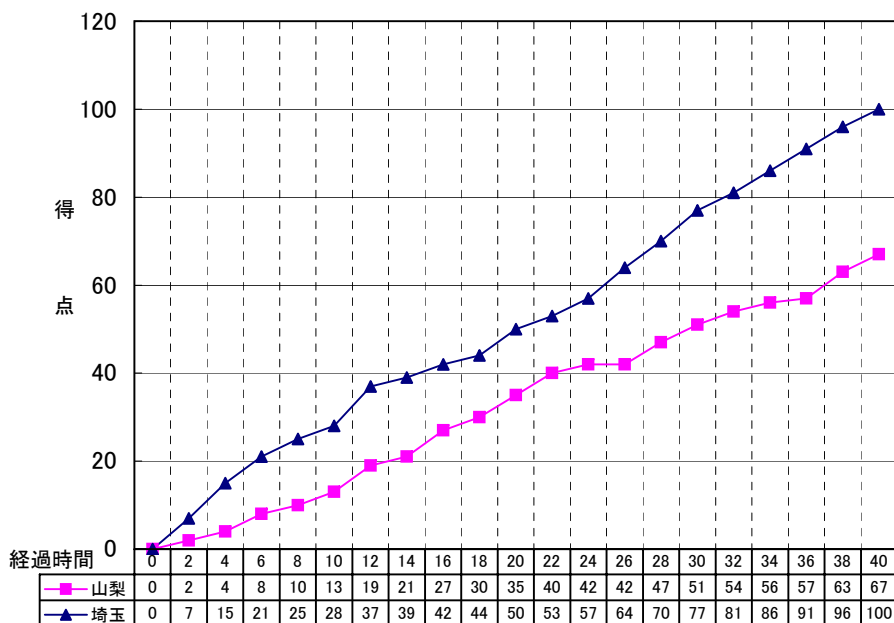
*はスターティングメンバーを表す 確率 30.8% 48.1% 71.4%

埼 玉

番 号	氏 名	得 点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシスト パ ス	スティール	ブロック ショット	ターン オーバー
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		DF	OF	計				
4*	清水 隆亮	13	1	1	4	6	2	4	0	3	3	6	4	1	0	1
5*	新田 華武伊	14	0	0	7	8	0	0	3	5	2	7	4	1	2	2
6	藤森 康平	7	1	1	2	3	0	0	0	1	0	1	2	1	0	0
7*	馬場 健司	20	0	3	8	14	4	5	0	2	3	5	0	3	0	0
8	中居 秀貴	4	1	5	0	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	1
9	戸ヶ崎 祥一	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	大久保 亮	9	1	3	2	4	2	4	0	0	3	3	1	0	0	0
11	武内 健	9	1	3	3	4	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0
12*	平田 匠	13	1	4	3	10	4	5	1	2	4	6	1	1	0	1
13	泉 秀岳	4	0	0	2	4	0	0	0	1	1	2	1	0	0	1
14*	小原 宏太	7	1	2	1	2	2	2	2	1	0	1	1	2	0	2
15	倉林 紀和	0	0	5	0	2	0	0	0	4	0	4	2	0	0	0
HC 井上 裕史 / チーム		0														
合 計		100	7	28	32	58	15	22	7	20	16	36	16	10	3	8

*はスターティングメンバーを表す 確率 25.0% 55.2% 68.2%

2分毎による得点の推移



戦評

山梨、埼玉共にハーフコートマンツーマンでスタート。埼玉⑩平田のフリースロー、山梨⑦村上の1対1でゲームが動き出す。埼玉は⑩平田の1対1、⑩小原の3Pで10点差としたところで山梨1回目のタイムアウト。山梨はGを変えてリズムを変えようとするが流れは変わらない。その後山梨はディフェンスを2-3ゾーンに変えるが、埼玉15点リードで1Qを終了。2Q山梨はディフェンスのプレッシャーを強め流れを作ろうとする。埼玉もリバウンドから良く走り得点を重ねる。次第に山梨の足が動き出し埼玉の得点が止まり、埼玉15点リードのまま前半を終了。後半、山梨はディフェンスをオールコートでの2-2-1ゾーンプレスに変え、プレッシャーをかける。埼玉は落ち着いてボールを運び、次第にゾーンにもなれ中外バランスよく攻めた埼玉が77対51と25点差にリードを広げて3Qを終了。4Q山梨は速い展開に持っていこうとするが、なかなかシュートが入らない。埼玉はメンバーチェンジでリフレッシュした選手が落ち着いてボールを展開し、リードを広げ100対67の33点差で終了。地元山梨は最後まで諦めず頑張ったが、シュート力とリバウンドに勝った埼玉が落ち着いたゲーム運びで終始リードを保ち、勝利を取った。

主 審 伊 橋 隆 浩
(千葉)

副 審 川 崎 洋 次 郎
(東京)

記入者 山 本 裕
(山梨)